

請 願 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受 理 番 号	1 2 2 2	受 理 年 月 日	令 和 5 年 2 月 10 日
件 名	保 育 ・ 学 童 保 育 制 度 の 拡 充		
要 旨	<p>私たちは、真に子供の最善の利益が保障される保育・学童保育制度の充実・発展を願っているが、京都市はその願いに逆行する制度改悪を行財政改革の名の下に強行に実施している。子供・保護者・保育者など保育関係者の保育環境の悪化につながる制度改悪はストップしてほしい。また、保育・学童保育制度における京都市の財政負担を軽減していくには国の保育・学童保育制度の改善が重要であり、国への働き掛けを行ってほしい。</p> <p>ついては、以上を踏まえ、次のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育園（所）・認定こども園の保育の質低下を招く民間保育園への補助金カットは見直すこと。</li> <li>2 保育園（所）・小規模保育事業所等の定員割れ対策（定員払い制等）を実施すること。</li> <li>3 保育園（所）・小規模保育事業所等の保育料の引上げ計画は断念し、子育て環境改善のために保育料・給食費の軽減を図ること。</li> <li>4 収入に関わりなく誰もが利用できるように、政令市で最も高い学童クラブの利用料金実額を下げること。</li> <li>5 災害時対応や虐待対応等において欠かせない市営保育所を各行政区において堅持・拡充すること。</li> <li>6 国の低水準な保育・学童保育制度（職員配置基準・職員処遇・保育料など）を改善するよう、国に対して要請をすること。</li> </ol> <p>なお、本請願について、2万328筆の署名を添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	ほり 信子、河合ようこ、くらた共子、鈴木とよこ		
付 託 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		